2024 年度

学習の手引き

法政大学国際高等学校

2024 年４月１日教務部発行

目　　次

1　法政大学国際高等学校　ミッションステートメント…… 3
2　法政大学国際高等学校　スクールポリシーより
　評価に関するポリシー（一部抜粋）…… 4
　学問的誠実性に関するポリシー…… 5
　言語に関するポリシー（一部抜粋）…… 7
3　教育課程表…… 8
　教育課程表（グローバル探究コース）
　教育課程表（ＩＢコース）
4　学習のねらい…… 10
5　本校教育課程の特徴…… 13
6　学びのデザイン…… 14
7　単位修得と卒業認定…… 15
8　授業・試験に関する規定…… 16
　遅刻・欠課・早退についての規定…… 16
　届出規定…… 17
　インフルエンザ等に罹患した場合の欠席について…… 17
　試験心得（定期試験）…… 19
　定期試験を受験できなかった場合の評価上の処置…… 20
　自然災害により交通機関が不通になった場合の措置について…… 22
9　図書視聴覚室の利用について…… 23
10　コンピュータ教室・インターネットの利用について…… 24
11　2024 年度使用教科書・副教材一覧…… 26

1．法政大学国際高等学校　ミッションステートメント

法政大学国際高等学校は、「自立、探究、共生」を柱に、あらゆる人々への共感に基づく健全な批判精神を持ち、地球社会のさまざまな課題と向き合い、異質な他者とも協同してその解決に貢献する、世界のどこにあっても生き抜く自立した個、グローバルシチズン（地球市民）を輩出することを使命とする。

本校はここに集うすべての者が一個の「学習者」として、主体的に学び、考え、行動する、真に自由な思考と行動を貫きとおす自立した存在であることを求める。

また本校は自由と民主主義を標榜し、対話に価値をおく。本校に存在する生徒、教職員を含む全ての者は、自他の尊厳を尊重しなければならない。本校はここに集うすべての者に論理的で自立的な方法で考えること、そして協力して問題を解決する態度をとることを求める。

※ミッションステートメント及び、2 のスクールポリシーの一部はホームページのスクールポリシーより抜粋(2024 年 4 月 1 日時点)。 内容は更新される可能性があります。

２．法政大学国際高等学校　スクールポリシーより

評価に関するポリシー(一部抜粋)

評価の基軸―学習目標と評価

本校はグローバル探究コース・IB コース共通の学習目標に、「5 つのスキル」の獲得、習得を掲げている。したがって、各科目の「評価」は、あらかじめ学習者に示す評価基準（ルーブリック）をもとに、5 つのスキルごとに到達度を測り、これらを総合して示される。2022 年度より導入された「3 観点別評価」についても、本校では 3 観点のうちの「知識と技能」を「5 スキル獲得のために積み重ねておくべき基礎的・基本的な知識・技能技術」とし、「思考・判断・表現力」を「思考スキル・コミュニケーションスキル・ソーシャルスキル・リサーチスキル」の獲得と成長度で、また「主体的に学びに向かう態度」を「自己管理スキル」の到達・達成度で示す。

Ⅰ．5 つのスキル

本校が獲得と習得を目指す「5 つのスキル」は、複雑で解決が困難な課題に向かい、これを乗り越え解決の道筋を見出していくために必要な、「自由を生き抜く実践知」を備えた「地球市民」となるために必要な「力」「技量」である。

以下、5 つのスキルがどのような質の力であるか、簡潔に示す。

○思考スキル：問題の本質を突き止め、今ある情報を正しく、かつ効果的に組み合わせて、確かな根拠に基づいて、論理的かつ創造的に現時点におけるもっとも有効、妥当な「解」、解決策を考え出す能力。

○コミュニケーションスキル：みずからの考えを主張としてまとめ、適切に、効果的に伝える力、表現する力。また、他者の主張・表現を正しく理解し、「対話」を通じて相互の理解を生み出していく力。

○ソーシャル（社会性）スキル：発見し、獲得した「知」や疑問、意見（見解）を、他者とも共有して課題解決のための協働の空間を創ろうとする構えとその方法を確立する力。

○自己管理スキル：学習や研究において、到達地点を見据えて取り組むべき量や質を理解し、また自分の能力を把握して、とるべき行動の順序や時間の配分などを適切に管理し、実践する力。学習・研究の計画を立て、実行し、必要に応じて修正する力。

○リサーチスキル：課題や研究に関してみずから問題を設定し、その追究、解明のためには、どのような調査、研究が必要なのかを見定め、いま持っている情報と持っていない情報を整理し、自分に必要な新しい情報を得るためにはどうすればいいのかを考え、行動する力。手にした情報の正誤を判断する能力も含む。

Ⅱ．授業時間外の自学習、課題（宿題）への取り組みと評価

授業時間外の自学習、課題（宿題）への取り組みは、グローバル探究生にとっても IB コース生にとっても重要である。自学習の目的は授業で学んだ事項をあらためて捉え直し、みずからの力とすることに

あり、そして次回の授業内容を事前に確認し、さらに次の段階の応用や実践に進むためにある。各科目から課される課題(宿題)への取り組みも、同様に探究をより深め、次のステップに繋げていくためにある。本校は、こうした自学習や課題（宿題）への取り組みも、自己管理スキルの一つとして評価する。

学問的誠実性に関するポリシー

本校はすべての学習者に、「自らの努力と探究によって得られた成果に真の価値を見出し、そのことの意義を学習者みずからが体得していくこと」を求めている。学習者は共有された知識や技能を公正かつ誠実な方法で用いなければならないし、他者が成し遂げた研究成果や作品に対して、必要十分な敬意をはらって扱わなければならない。こうした態度・姿勢を、本校では「学問的誠実性」と呼ぶ。

学問的誠実性への理解のために

本校では学習者の一人ひとりが、「学問的誠実性」とはなにか、どのような態度・姿勢のことを言い、具体的にどのような手順・手続きをとって課題や研究等にあたらなければならないのかを理解するために、入学年度当初にガイダンスを設けている。また、各年次各科目の学びを通じて、「学問的誠実性」に関するあらゆる事柄について支援を行っている。

学問的に「不誠実である」とはどういうことか

「学問的誠実性」への理解を深めるために、ここでは、学問的に不誠実だと思われる例をあげ、これに対する本校の対応、指導内容について説明する。

学問的に「不誠実である」とは、特定の生徒が結果として不公正な利益を得る、あるいは得る可能性のある行為のことを言い、具体的には、「盗用」、「剽窃」、「不正な目的のための結託（共謀)」「改竄」、「受験時の不正」などを指す。

「盗用・剽窃」とは、「他の何者かが成し遂げた成果や考え方・発想を、無断で使用し、あたかも自分のものであるかのようにやり過ごすこと」で、具体的には次のような行為が含まれる。

・適切な引用・参照を明示することなく、書籍やウェブサイトから複写したものを転用・引用し、提出すること。
・他者が作成したデータや数値を、その引用元を示さずに、自身の提出物に貼り付けて提出すること。
・すでに評価された自身の過去の提出物の内容を大きく修正することなく、大半を複写して新たな提出物と装うこと。
・過去の、または現在の他の生徒の提出物の複写を用いること。
・自身の提出物に関して、他者（家族、知人、家庭教師など）に部分的・全面的に書き直してもらうこと。

また、次のような事例も学問的に「不誠実」な行為となる。

・担当教員から示された評価結果（採点内容や点数、成績・評定）を恣意的に変えたり、変えようと試みたりすること(「改竄」)。

・試験中に他の生徒の答案を見ること（いわゆる「カンニング」)。
・試験中に私語をすること。
・試験会場に許可の出ていない機器（携帯電話や端末機器）を電源を入れたまま持ち込むこと。 その他、許可の出ていないものを持ち込むこと。

さらに、「学問的に不誠実な行動を助ける、また求める行為」もまた、学問的に不誠実な行為と見なされる。これは、「不正な目的のための結託（共謀)」であり、「他者との協力（共同研究)」とは異なる。「協力」とは、参加する個々人の努力の融合を意味する。例えば、「協力（共同研究)」の中で一つのデータを複数人で共有することもあり得るが、そうした場合も、最終的には各自が独自に課題に取り組み、提出物を完成させなければならない。

「学問的に不誠実な行為」に対して

提出されたすべての答案、課題、エッセイ（論文)、調査研究、作品その他の評価対象物について、科目担当教員はそれが「学問的誠実性」に則って独創されたものであるか、確認する。

提出された評価対象物の中に、また試験中、答案等の返却時に「学問的に不誠実な行為」の疑いがあるとき、担当の科目教員により、試験の場合は試験監督により、事実の初期確認がなされる。その内容は教務部主任に、IB コース生の場合は IB コーディネーターにも報告され、事実の究明がなされる。

この事実の究明にあたっては、当該生徒を交えた検証の場を設け、教員が一方的に「学問的に不誠実な行為」がなされたと断じることはない。これは、本校が学習者との「対話」、および自他の尊厳の尊重に重きを置いているからである。

検証中、および「学問的に不誠実な行為」の確認がなされた後の対応は、次のような経緯を辿る。

（1）科目担当教員は、「学問的に不誠実な行為」が疑われる事案に関わる生徒と、事実究明のための協議・面談を行う。その際、教員は、疑いの根拠を示さなければならない。なお、この協議・面談の席には、科目担当教員が所属する学科会教員等が加わることがある。

（2）この協議・面談において、「学問的に不誠実な行為」があったと認められた場合、当該の答案、評価対象の提出物については、成績・評価が得られなくなる。IB コース生においては、これにより IB ディプロマ資格(DLDP)を得る機会を逸する可能性がある。

（3）この間の経緯と確認の内容は、協議・面談に当たった科目担当教員が所属する学科会から教務部及び生徒支援部を通じて教員会議に報告され、審議の上で指導・処分内容の確認がなされる。また、当学習者にはその学問的誠実性の欠如に関して、振り返りが求められる。この振り返りのねらいは、失われた学問的誠実性の回復にある。振り返りにあたっては、科目担当教員、当該の学科会、IB 教員チーム内の複数教員と連携をする。また、当学習者と教員と保護者の三者での連携も図られる。

学習者、教員、保護者の責任

学習者は入学年次当初のガイダンス、各科目の中での支援を通じて「学問的不誠実性」「学問的誠実性」

の意味と意義について十分に理解する必要がある。その上で、学習者は自身の取り組みの「誠実性」を示す根拠として、自己のすべての提出物について、メモや下書きなどを含めて作成したものはそのつど保存しておくなどして、みずからの独創による取り組みの成果であることを説明するための努力を怠ってはならない。

教員は、適切な時期と頻度で「学問的誠実性」の重要性を学習者に伝え、かつ、学習者のすべての提出物に関して、一貫してこの指針を適用しなければならない。本校は、ハーバード式の引用・参照元記述法を推奨しており、その方法は、グローバル探究コースおよび IB コース DLDP の教育課程の中で全生徒に享受される。

保護者もまた、「学問的誠実性」に関わる本校の指導理念を理解し、生徒の評価対象物の提出に当たって適切な対応をとらなければならない。そのために、本校は保護者に対しても「学問的 誠実性」の重要性について享受する機会（保護者向けのガイダンス）を設けている。

言語に関するポリシー（一部抜粋）

現代に生きる若者たちは、グローバル化の拡大と技術の進歩に伴い、かつてないほどの多文化にさらされるようになった。世界の人々と共に生きるためには、さまざまな階層の人々を理解することが必要である。法政大学国際高等学校ならびに IBO は、第一言語と異なる言語を学ぶことは、多文化への理解を深める上で不可欠であると認識している。したがって、本校は、国際的な教育を提供すべく、全生徒に外国語学習を課す。ＩＢコースにおいて、本校は DP 科目を日本語及び英語で提供しており、ＩＢ生たちは、第二言語を使って言語以外の教科を学ぶことができる。本校は、生徒たちが、異文化やあらゆる階層の人々への深い敬意をはらい、真の国際人となることを支援する。

生徒間、教職員、生徒教職員間のいずれの関係においても、互いの尊厳を尊重しなければならない。そのため、身体的な暴力のみならず、言語による暴力は決して許さない。

スクールポリシー全文は、本校 HP よりご覧ください。
https://kokusai-high.ws.hosei.ac.jp/school/policy/

３．教育課程表（2022 年度以降入学生）

教育課程表（グローバル探究コース）

教科等	科目	単位数	学校設定科目	必履修・選択必修
国語	現代の国語	2		○
	言語文化	2		○
	論理国語	4		
	文学国語	4		
	古典探究	4		
	総合国語	2	○	
	古典総合	2	○	
	古典講読	2	○	
	日本の古典芸能	2	○	
地理歴史	歴史総合	2		○
	地理総合	2		○
	世界史探究	4		
	日本史探究	4		
	世界史総合	2	○	
	日本史総合	2	○	
公民	公共	2		○
	倫理	2		
	政治・経済	2		
	国際社会	2	○	
数学	数学Ⅰ	3		○
	数学Ⅱ	4		
	数学Ⅲ	4		
	数学A	2		
	数学B	2		
	数学C	2		
	数学研究Ⅰ	2	○	
	数学研究Ⅱ	2	○	
	調査研究の為の数学	2	○	
理科	物理基礎	2		○
	化学基礎	2		○
	生物基礎	2		○
	物理	4		
	化学	4		
	生物	4		
	物理への橋渡し	2	○	
	化学への橋渡し	2	○	
	生物への橋渡し	2	○	
	理科特講	2	○	
保健体育	体育	7		○
	保健	2		○
芸術	音楽Ⅰ	2		●
	音楽Ⅱ	2		
	音楽Ⅲ	2		
	美術Ⅰ	2		●
	美術Ⅱ	2		
	美術Ⅲ	2		

教科等	科目	単位数	学校設定科目	必履修・選択必修
外国語	英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ	4		○
	英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ	4		
	英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅢ	4		
	論理・表現Ⅰ	2		
	論理・表現Ⅱ	2		
	論理・表現Ⅲ	2		
	ライティングⅠ	2	○	
	ライティングⅡ	2	○	
	いろいろな英文を読む	2	○	
	英語で学ぶ日本の文化	2	○	
	英語圏の言語と文化	2	○	
	中国語圏の言語と文化	2	○	
	韓国・朝鮮の言語と文化	2	○	
	ドイツ語圏の言語と文化	2	○	
	フランス語圏の言語と文化	2	○	
	スペイン語圏の言語と文化	2	○	
	イタリア語圏の言語と文化	2	○	
	ランゲージB HL Ⅰ	6	○	
	ランゲージB HL Ⅱ	6	○	
	ランゲージB SL Ⅰ	4	○	
	ランゲージB SL Ⅱ	4	○	
家庭	家庭基礎	2		○
情報	情報Ⅰ	2		○
	情報Ⅱ	2		
国際	Critical thinking	1	○	
	高大連携	2	○	
	知の道筋	2	○	
	地球市民Ⅰa	1	○	○
	地球市民Ⅰb	1	○	○
	地球市民Ⅱ	2	○	○
	Project-based Learning	2	○	
総合的な探究の時間		3		○
ホームルーム活動		3		○

（1）芸術は、「音楽Ⅰ」又は「美術Ⅰ」のうち、いずれか1科目を選択する。（●印）

教育課程表（ＩＢコース）

教科等	科目	単位数	学校設定科目	必履修・選択必修
国語	現代の国語	2		○
	言語文化	2		○
	ランゲージA HL	12	○	□
	ランゲージA SL	8	○	□
地理歴史	歴史総合	2		○
	地理総合	2		○
	ヒストリー HL	12	○	□
	ヒストリー SL	8	○	□
公民	公共	2		○
数学	数学Ⅰ	2		○
	数学A	2		
	マセマティックス：アナリシス・アンド・アプローチズ HL	12	○	□
	マセマティックス：アナリシス・アンド・アプローチズ SL	8	○	□
理科	物理基礎	2		○
	化学基礎	2		○
	生物基礎	2		○
	バイオロジー HL	12	○	□
	バイオロジー SL	8	○	□
	ケミストリー SL	8	○	□
保健体育	体育	7		○
	保健	2		○

教科等	科目	単位数	学校設定科目	必履修・選択必修
芸術	音楽Ⅰ	2		●┐
	美術Ⅰ	2		●┘
	ヴィジュアル・アーツ HL	12	○	□
	ヴィジュアル・アーツ SL	8	○	□
外国語	英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ	2		○
	論理・表現Ⅰ	2		
	ランゲージB HL	12	○	□
	ランゲージB SL	8	○	□
家庭	家庭基礎	2		○
情報	情報Ⅰ	2		○
自由選択	選択科目	1～8	○	
国際	Critical thinking	2	○	
総合的な探究の時間	総合的な探究の時間	1		○
	セオリー・オブ・ナレッジ	4	○	○□
	クリエイティビティ・アクティビティ・サービス			□
	イクステンディド・エッセイ			□
ホームルーム活動		3		○

(1)芸術は、「音楽Ⅰ」又は「美術Ⅰ」のうちから、いずれか1科目を選択する。（●印）
(2)「ランゲージA」、「ヒストリー 」、「マセマティックス:アナリシス・アンド・アプローチズ」、「バイオロジー」、「ケミストリー」、「ヴィジュアル・アーツ」、「ランゲージB」、「セオリー・オブ・ナレッジ」、「クリエイティビティ・アクティビティ・サービス」、「イクステンディド・エッセイ」については、国際バカロレア機構の定めるディプロマ・プログラムに基づいて選択する。(□印)
(3)「ランゲージA」は「日本語:文学」、「ランゲージB」は「English」

４．学習のねらい

本校では、〈主体的に学び、考え行動し、多様な他者とつながる 21 世紀の地球市民（グローバルシチズン)〉を育てることを目標にしています。それは、日々の学びを通して、「楽しむ能力」「疑う力」「挑む力」「寛容な心」を身につけていくことにつながります。

そして、本校が考える学習者像の、もっとも理想に近いものとして次のようなものがあります。

・Inquirers（探究する人）
・Knowledgeable（知識のある人）
・Thinkers（考える人）
・Communicators（コミュニケーションができる人）
・Principled（信念をもつ人）
・Open-minded（心を開く人）
・Caring（思いやりのある人）
・Risk-Takers（挑戦する人）
・Balanced（バランスのとれた人）
・Reflective（振り返りができる人）　　（IB learner profile より）

学習の目標において、グローバル探究コースとＩＢコースに違いはありません。それぞれが、こうした学習者像に向って、日々みずからを高めていく、その努力をしてほしいと考えます。人生を存分に楽しみ、ものごとの真理を探究するうえで不可欠な批判的な思考能力を身につけ、挑戦を怠らず、あらゆる違いや偏見を乗り越えて、人や社会と創造的な関係を築ける人になってほしいと願っています。

5 つのスキル

学習を進めていくうえでは、５つのスキルの習得を意識することが大切です。

・思考スキル……問題の核となることを突き止め、今ある情報を効果的に組み合わせて、正しい根拠に基づいた適切な論拠を固めながら、論理的かつ創造的に解決策を考える能力。
（知識の習得・理解・応用・分析・統合・評価・弁証法的思考・メタ認知）
・コミュニケーションスキル……自分の考えをわかりやすく伝える力。そして、他者の表現からその人が考えていることを理解し、それに適切に対応する力。
（聞くこと・話すこと・読むこと・書くこと・読みとること・発表すること）
・ソーシャルスキル……知や疑問を自分のなかだけにとどめず、それらを他者と共有する姿勢とその方法を確立する。対話を円滑に行い、人々の知が集まりやすい環境を整える力。
（責任をもつこと・他者を尊重すること・協力し合うこと・争いを解決すること・グループでの意思決定に参加すること・役割を負担すること・異なる性格や意見の違う人とかかわること）
・自己管理スキル……自分がやるべきことの量や質を理解し、また自分の能力を把握して、とるべき行動の順序や時間の配分などを適切に管理し、実践する力。
（秩序立てた考え方や行動ができる・時間管理ができる・安全に配慮できる・健全な生活を送ることができる・行動の規範を守る・賢明な選択をする・必要なときは他者に頼ることができる）
・リサーチスキル……いま持っている情報と持っていない情報を整理し、自分に必要な新しい情報を得るためにはどうすればよいのかを考え、行動する力。手にした情報の正誤を判断する能力も含む。

（問題を提起する・観察する・計画する・資料を収集する・資料を記録する・資料をまとめる・資料を解釈する・リサーチ結果を発表する）

本校の考える「学力」とはどのようなものか

本校では、単なる知識量の多さを「学力」とは見なしていません。また誰かが先に導き出した「正答」を鵜呑みにしてそのまま「正答」とするような力も「学力」とは見なしていません。その時点の「学び」からさらに主体的に思考を深め、「世界」の成り立ちや自分のあり方を反省的に捉えなおす。その振り返りがきっかけとなって、「もっと学びたい！」というモチベーションが高まり、学習はさらに深まっていく……。こうしたダイナミックなプロセスを、みずからが切り開いていける力。これが、本校の考える「学力」（知性）です。

こうした「学力」（知性）は、複雑化する現代社会の中で「個」を確立させるために、また、しなやかに生きていくために必要となるものです。３年間の学習活動を通じて、みなさんが現代にふさわしいアイデンティティを確立させることを、本校教員は望んでいます。

アイデンティティの確立へと繋がる「学習」とはどのようなものか

したがって本校教員は、「学び」を共にする生徒たちに、主体性・積極性を求めています。教室で授業を聞いて、板書されたものを写しとる……これでは高校生らしい学習とはまったく言えません。さまざまな状況、事象から取り組むべき問題・課題を見出し、積極的に発言し、質問し、他者の意見に耳を傾け、さまざまな考えを知ろうとする、こうしたことに努めながら、「考える、判断する、表現する人」になって欲しいのです。

授業とは、教員が生徒にメッセージ（内容）を伝えることだけを目的とした、一方通行の場ではありません。むしろ、生徒と教員が、生徒同士が、ともに力を合わせて＜学び＞を作り上げていく、有機的なコミュニケーションの場であると言えます。生徒も教員も「共に学び合う学習者」であり、「学ぶ」ということにおいては対等の関係だと考えています。

こうした＜学び＞を充実したものにするために、私たちは、アクティブで協同的な新しい授業実践の導入を積極的に進めています。生徒のみなさんにも、授業に参加している自覚をきちんと持ってほしい、と望んでいます。

そのために――＜学び＞のコミュニケーションを濃密で、楽しいものにするために――、前提となることがあります。それは、授業前の予習／授業後の復習をしっかり行い、興味を抱いたことについて自分で調べ、発展させていくことです。多くの科目が、こうした家庭での自学習を前提にして、授業ではさらに高次の発展的な問題に取り組んでいます。

苦手分野を把握し、それを克服するように努力すること、知識を定着させるために反復学習を行うことなども大切です。ここは高等学校の学びの場ですから、「手取り足取り」の環境はありません。みずから「学ぶ」「学びの習慣を身につける」ことが大切なのですが、この姿勢こそが、自己の将来像を具体的につくり上げることに繋がっていくはずです。

最後に、読書の大切さについて

これからの３年間を真に有意義なものにするために、さまざまなジャンルのたくさんの本を読み、多様

性に満ちた「世界」や「人間」のあり方に、多く触れてほしいと望んでいます。現代ではネットの検索によって実に容易に「求める答え」を手にすることができます。以前と異なってかなり情報の質も高まっており、今後、こうした PC 機器や情報環境を有効に活用する力は絶対的に必要になってくるわけですから、大いに利用してよいでしょう。ただ、問題はそこで得た情報を整理し、正誤を見極め、利用選択の判断をする力がまだ高校生には身についていないということです。指先操作でまず最初に画面にあらわれた情報をほとんど（まったく）精査しないまま、「正解」として利用してしまう。これでは真の「知識」「学力」には結びついていきません。手にした情報は正しいのか、なぜ正しいと言えるのか、これを正しい答えとすることはこの問題に対してどこまで妥当なのか、と批判的に情報を点検する姿勢と力が必要なのです。

この姿勢と力を獲得するためには、さまざまな異なる意見とも対話し、活路を見出していくという作業がもっとも適当です。しかし、そのためには「みずからの意見・見解・見識」を持たなければなりません。その獲得にもっとも有効な学びが、時間はかかりますが、読書です。

本校ではさまざまな授業で読書を促していますが、みなさんもぜひ図書館へ足を運び、多くの意見に触れてください。読書を通して自分の世界を広げていってください。

５．本校の教育課程の特徴

本校のカリキュラムの特徴は、２年次・３年次の学習を自分の進路や興味関心に合わせて組み立てていく単位制カリキュラムであるということです。

１年次には高等学校の必履修科目が配置されています。科目を幅広く、バランスよく学習していくことを通じて、高校生としての基礎学力の定着を図っていきます。中学と高校の学習の違いを認識し、高校の学習に慣れ、学ぶ意味をしっかりとつかんで、自発的な学習習慣をきちんと身につけていきましょう。

２年次からは選択授業により、興味のある分野、力を伸ばしたい分野を重点的に学ぶことができます。自分なりのカリキュラムを作り上げ、高校での自らの学びを完成させるために、自分の将来像を思い描き、自分の学習目標を見定めて授業を選んでいきましょう。

学びに対する積極的な姿勢なしには、本校での学びは完成しません。みなさん自身の高校生活が豊かで実りあるものとなるよう、自分から学ぼうとする気持ちを持って授業に臨んでください。

✧　ＩＢコース

1 年目は、高校卒業資格を得るための文科省指定科目を中心に、DP プログラムにそなえた Pre-IB プログラム授業が行われます。2 年目・3 年目は、ディプロマプログラムにそって授業が展開されます。

✧　グローバル探究コース

１年目は高等学校の必履修科目を中心にベーシックスキルを身につけますが、２年目からは、自分の興味・関心・進路希望に沿って、自由に授業を選択します。各自の希望に応じて、必履修科目も含めて自分なりのカリキュラムを作り上げ、自分の進路に必要な科目を効率よく学ぶことで、多様な進路選択が可能となります。自分の将来を視野に入れながら学ぶことで、学習意欲が高まり、学ぶ意味を考えながら学習に取り組むことができるでしょう。各自の進路に応じた学習を進めることで、「豊かに生きてゆくための学力」を身につけてほしいと考えています。

６．学びのデザイン

目の前の社会・世界は刻一刻と変化を続け、おそらく 20 年後は今ある仕事の多くが消失し、世界の情勢も大きく様変わりしているでしょう。「日本」は歴史的にも類を見ない少子化・高齢化の流れの中で、今ある人生観、価値観、生活様式とは質の異なるものに変えていかなければならなくなる。こうした見通しも持てない不穏な未来に、既存の、当たり前の「学び」だけでは困難な課題に立ち向かい、打開の未知を切り拓いていく力を身につけることはできません。

2022 年度にスタートした「学びのデザイン」は、20 年後の世界に対峙する視点や力をもち、世界中の人々と問題を共有し、これに立ち向かっていく姿勢と態度を持った人材「地球市民」を育成するために開発したプログラムです。

1 年次には、全員が「Critical thinking」で論理的・批判的思考とはなにか、どうすればそうした思考を見につけられるか、なぜ人は間違うのか・何が間違いの思考を生み出すのかといった問題に実践的・演習的に取り組みながら、「探究」のためのさまざまな方法を学んできます。

同時に「総合的な探究の時間」を利用して、課題研究のメソッドを学び、みずからが設定した課題に取り組んでいく課題研究プログラム「PASS」に取り組みます。本校が SGH 高に指定された際に開発した「グローバルリーダー育成構想」であった「PASS」において、生徒は社会課題を掘り下げ、課題解決計画を立て、その成果を社会に提言してきました。この「PASS」プログラムを練り直し、課題研究方法を学び、実践に結びつけるためのプログラムに作りかえたものが、課題研究プログラム「PASS」です。

2 年次からは、「Critical thinking」と課題研究プログラム「PASS」での学びを土台に、講座「地球市民Ⅰ・Ⅱ」を展開させていきます。講座「地球市民」では、従来の教科目の閉じた学びから脱却し、まったく新しい 6 つの視点（自己と他者、空間と時間、個人的表現と文化的表現、自然と科学、公平性と発展、グローバル化と持続可能性）から世界を捉え、課題解決の道筋を探っていきます。

3 年次の「地球市民Ⅱ」では、高校 3 年間の学びの集大成として、全員が「卒業エッセイ（論文）・研究・制作」に取り組みます。

７．単位修得と卒業認定

✧　単位とは

学習指導要領では、1 単位時間を 50 分とし、35 単位時間の授業（1 年間分の授業）を 1 単位として計算することを標準としています。

✧　履修とは

授業を履修科目として登録し、決められた内容を学習することを履修といいます。

✧　単位の修得とは

登録した授業に出席し、評価を得ることで単位の修得が認められます。

以下の場合は修得が認められません（未修得)。

① 科目の評定が 10 段階でつけられるものについて、1 または 2 の評定を取ると、その科目の単位は修得が認められません。

② 欠課時数が授業時数（年間 35 単位時間を基準とする）の 3 分の 1 を超えた場合は、修得が認められません。

✧　卒業するためには

卒業するためには、必履修科目を履修していること、卒業までの修得単位が 74 単位以上（※）であることが条件となります。

※「ホームルーム活動」は単位数に含みません。

※G 探究コース生については、卒業に必要な修得単位に含めることのできる学校設定科目は 20 単位までとなりますので、学校設定科目以外の科目を 54 単位以上履修することが必要です（学校設定科目を 20 単位以上履修しても構いません)。

※法政大学の付属校推薦を希望する場合には、81 単位以上を履修（「ホームルーム活動」と「総合的な探究の時間」を除く）し、履修した科目をすべて修得することが必要です。

８．授業・試験について

授業は 2 単位の授業であれば、50 分を 2 コマ連続して行います。1 単位分の授業は、時限の前半または後半の 50 分で行われます。

✧　授業時間

時　限	開始時刻～終了時刻
1 時間目（100 分）	8:55～10:35
2 時間目（100 分）	10:45～12:25
昼休み	12:25～13:10
3 時間目（100 分）	13:10～14:50
4 時間目（100 分）	15:00～16:40

✧　時間割表について

1 年次の時間割はクラスごとに決まっています（一部の選択授業を除く）が、2 年次からは各人の選択によって一人一人異なる時間割になります。授業に関する情報（教室・課題・試験など）については、自分に必要なものを正確につかむよう、心がけてください。

✧　教員が授業に来ないとき

担当の先生が教室に来ない場合には、Classroom に連絡が来ている場合もありますので、確認してください。授業開始後 10 分間を経過しても来ない場合には、事務室の学務窓口に出向き、指示を仰いでください（課題が出ている場合もあります)。

✧　遅刻・早退・欠課について

授業に遅刻した場合や授業を早退する場合には、授業担当者に申し出てください。その際、理由が電車遅延等の場合には遅延証を提示してください。また、電車遅延の場合であっても、大幅な遅刻となった場合には、遅延の内容がわかるものを添付して、書面での届け出をお願いします。

遅刻・早退・欠課についての規定（生徒手帳より）

１．50 分授業の場合

①20 分までの遅刻は、遅刻 1 回とする。

②20 分を超えた遅刻は欠課 1 時間とする。

２．50 分授業を 2 コマ連続して行う場合

1 の①②に加えて以下の通りとする。

③50 分を超え 70 分までの遅刻は欠課 1 時間および遅刻 1 回とする。

④70 分を超える遅刻は欠課 2 時間とする。

※早退は遅刻に準ずる。

✧　欠席届等について

学校を欠席した場合は、以下の規定に従い、届け出てください（様式は生徒手帳 17・18 ページ参照）。

届出規定（生徒手帳より一部抜粋）

〔欠席届等〕

欠席等の届出の要領は下記の通りである。

尚，届出の様式は別記に従う。

１．欠席する場合は，事前に届を出して許可を得るか，当日，電話またはｅメッセージアプリ(Web)で欠席連絡をすること。

尚，病気欠席７日以上の場合は，診断書を添えること。

２．忌引の場合は下記の日数について休むことができる。

両親の場合　６日以内

二親等（祖父母・兄弟）の場合　３日以内

３．遅刻・早退をする場合は，事前に届を出すこと。健康上の理由で早退したい生徒は保健室の指示を受けること。

✧　インフルエンザ等に罹患した場合の欠席について

新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ等、学校において予防すべき感染症に罹患した場合には、出席停止となりますので、必ず学校に電話連絡し、所定の手続きをしてください（詳しくは生徒手帳 13 ページに掲載）。欠席届については、「感染症による欠席届」（生徒手帳 19 ページ）を提出してください。

〈出席停止の手続き〉

1)インフルエンザ等の感染症と診断された場合、必ずお電話で学校にご連絡ください。

2)主治医が治癒の判断を行った場合以外は、療養期間を確認し、登校可能となってから登校してください。

3）登校する際には「感染症による欠席届」に必要事項を記入して持参し、保健室に提出してください。その際、A 医療機関を受診した、領収書、調剤明細書等）の写し、または、B 市販の検査キット等での検査結果がわかるもの（写真の場合はキットに検査日・氏名を記載し、パッケージと一緒に撮影すること）を添付してください。「感染症による欠席届」は本校ホームページからダウンロードもできます。

※定期試験を欠席する場合には、必ず医療機関を受診し、「A 医療機関を受診したことがわかる書類（薬の説明書、領収書、調剤明細書等）の写し」を提出してください。

※新型コロナウイルス感染症とインフルエンザとでは療養期間が異なります。

新型コロナウィルス感染症療養期間

発症日から、５日が経過し、かつ、症状軽快後１日経過後に療養解除、登校可能となる。

●４日目までに症状軽快

0日目	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目
発症				症状軽快	療養最終日	解除

出席停止期間

●5日目以降に症状軽快

0日目	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	×日目	×＋1日目	×＋2日目
発症						症状軽快	療養最終日	解除

出席停止期間

（但し、主治医が治癒したと判断した場合はこの限りではありません。）

インフルエンザ療養期間

発症日から、５日が経過し、かつ、解熱した後２日経過後に療養解除、登校可能となる。

●３日目までに解熱

0日目	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目
発症			解熱		療養最終日	解除

出席停止期間

●５日目以降に解熱

0日目	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	×日目	×＋1日目	×＋2日目	×＋3日目
発症						解熱		療養最終日	解除

出席停止期間

（但し、主治医が治癒したと判断した場合はこの限りではありません。）

✧　定期試験心得

試験心得（定期試験）（生徒手帳より）

１．試験等に関する留意事項

(1)試験開始後 20 分以上遅刻した場合、原則として入室できない。 試験当日は、不測の事態に対応できるよう、早めに登校すること。

① 電車・バスの遅延により遅刻した場合でも、20 分以内の遅刻については特別な扱いはしない。

② 電車・バスの遅延により 20 分を超える遅刻が生じるおそれのある場合は、必ず試験開始前までに学校に電話で連絡すること(遅延の状況が一定数以上の生徒に影響するものであるとき、教務部で確認し、特別の対応をとる場合がある)。

(2)自身の試験時間以外は、予め指定された「空き教室」等を利用できる。「空き教室」は試験会場と隣接している場合もあるので、会話を避け、静かに利用すること。試験時間中は、廊下、ロビー、パブリックスペース等においても会話をせず、静かに過ごすこと。

(3)試験会場(教室)では、あらかじめ指示された席に着席すること。

(4)試験開始 30 分を経過しなければ答案の提出はできない。また終了 5 分前の提出はできない。答案を提出した生徒は、その試験時間の終わりまで、教室外で静かに待機すること。答案提出後は監督教員の指示があるまで入室はできない。

(5)試験中は机の中にはいっさい物を入れてはいけない。机の中が空になっているか、机の上に書き込みがないか、試験開始前に必ず点検すること（机の中に物を残している場合や机の上に書き込みがある場合は、「不正行為」とみなす）。

(6)筆記用具以外のものは、すべて鞄にしまうこと。その際、電子機器（スマートウォッチ等も含む）は電源を切ること。試験中に着信音、アラーム等が鳴った場合、基本的に「不正行為」とみなす。使用したいもの（ティッシュ等）がある場合は、監督に申し出ること。

(7)試験中は筆箱、下敷き、定規、計算機等の使用は原則できない。ただし、事前に科目担当教員から「使用可」の指示説明があったものを除く。試験中は生徒間の筆記用具、定規等の貸借を禁ずる。

(8)試験中に体調不良が生じた場合には、すみやかに監督に申し出ること。

(9)不正行為をしてはならない。評価機会における不正行為に対しては厳しく対処する。

※不正行為とは、試験中、授業内で実施される小テストにおけるいわゆるカンニング行為、課題、提出物(論文・レポート、研究・調査のまとめ等々)における「剽窃」「盗用」、試験後の「改竄」行為等を指す。これらが発覚した時点で、当該の試験、課題・提出物の評価は 0 点とする。

2.定期試験を受験できなかった場合の届出について

(1)何らかの理由により試験を受けられなかった場合には、その試験の実施日を含めて 3 日以内に「欠席届」（または「遅刻・早退届」）をアドバイザーを通じて、または直接、教員室教務部席に届けること。

(2)「欠席届」（または「遅刻・早退届」）については、以下の内容を網羅していること。

〇ペン書きであること（鉛筆書きは不可）

〇届提出日

〇クラス・クラスター、学籍番号、生徒氏名
〇欠席した日時限、欠席した科目名
〇欠席・遅刻の理由　※必要に応じて「医療機関を受診したことがわかる書類（薬 の説明書、領収書、調剤明細書等）の写し」等の証明書類を求めることがある。
〇保護者署名、保護者印
※所定の欠席届を使用する場合、余白に欠席した試験の「時限」「科目名」を記載してください。

✧　定期試験を受験できなかった場合の、評価上の処置

1. 欠席者は「欠席届」を試験当日を含めて 3 日以内に、担任・アドバイザーを通して、または直接教務部に提出しなければならない。届け出がなく、欠席理由の正当性が確かめられないものについては、原則、試験による得点がなかったもの（0 点）とする。

2．成績の算出は、前期（I 期・II 期の総合成績評価)、後期（III期・IV期の総合成績評価)、年次総合成績において行う。期間科目（半期科目)については、前期成績、後期成績をそれぞれ総合成績とする。ただし、3 年次生については、IV期成績評価は算出しない。

3．前期、または後期内の定期試験を正当な理由により受験することができなかった場合の処置
(1) I 期またはII期(III期またはIV期)の定期試験のどちらか一方を受験している場合は、その試験の得点を基本に授業クラスの平均をスライドさせ、下記の計算式によって、当該学期(受験のなかった学期)の定期試験の得点を算出する。

$$\text{受験した定期試験の本人の得点} \times \frac{\text{受験していない定期試験の授業クラス平均}}{\text{受験した定期試験の授業クラス平均}} \times 0.7$$

(2) 前期または後期のすべての定期試験を正当な理由により受験することができなかった場合、次の処置をとって、必要な学期・年次の定期試験の得点を算出する。

① 前期の場合、後期試験の得点を基本に、次の計算式によって前期定期試験の得点を算出する。

$$\text{III期・IV期定期試験の本人の得点平均点} \times \frac{\text{前期定期試験の授業クラス平均点（I 期・II 期定期試験の授業クラス平均点）}}{\text{後期定期試験の授業クラス平均点（II 期・IV 期定期試験の授業クラス平均点）}} \times 0.7$$

ただし、当該生徒が 3 年次生で前期の評価材料がない場合、追試またはこれに準ずるものを、原則、前期成績確定日までに実施し、その評価は得点の 100 分の 70 とする。

② 後期の場合、前期試験の得点を基本に次の計算式によって後期定期試験の得点を算出する。

$$\text{I 期・II 期定期試験の本人の得点平均点} \times \frac{\text{後期定期試験の授業クラス平均点（II 期・IV 期定期試験の授業クラス平均点）}}{\text{前期定期試験の授業クラス平均点（I 期・II 期定期試験の授業クラス平均点）}} \times 0.7$$

ただし、当該生徒が 3 年次の場合は、次の計算式によって後期定期試験の得点を算出する。

$$\text{I 期・II 期定期試験の本人の得点平均点} \times \frac{\text{III 期定期試験の授業クラス平均}}{\text{前期定期試験の授業クラス平均点（I 期・II 期定期試験の授業クラス平均点）}} \times 0.7$$

③ 期間科目(半期科目）において、正当な理由から受験することができず、他の評価材料がない場合、追試またはこれに準ずるものを適当な時期までに（当該生徒が 3 年次生の場合は成績確定日までに）実施し、その評価は得点の 100 分の 70 とする。

4. 公欠・忌引き・出校停止等により、学期内の定期試験を受験することができなかった場合、追試は実施せず、II の 3 の(1)、(2)の計算式を用い、100 分の 100 で得点を算出する。

ただし、3 年次生で前期のすべての試験を上記理由により受験することが出来なかった場合は、評価確定日までに追試またはこれに準ずるものを実施し、100 分の 100 で得点を算出する。

（学内規定「成績評価・試験等の処理要領」の II「定期試験を受験できなかった場合の処理」による）

✧　自然災害により交通機関が不通になった場合

自然災害により交通機関が不通になった場合の措置について（生徒手帳より）

地震・台風・大雨・大雪などの自然災害のために交通機関が不通になった場合，本校では生徒諸君の居住区域が広範囲にわたっておりますので，通学途上の安全を配慮して下記のような措置をとることにしますのでお知らせいたします。

以下の①～⑤いずれか一つでも不通となった場合は、その後の復旧状況により１～3 の措置をとる。
①ＪＲ東海道線の品川駅から横浜駅間を含む区間
②ＪＲ京浜東北線の品川駅から横浜駅間を含む区間
③ＪＲ横浜線の東神奈川駅から新横浜駅間を含む区間
④京浜急行線の品川駅から横浜駅間を含む区間
⑤相模鉄道線の西谷駅から横浜駅を含む区間

上記の①～⑤の開通した時刻によって、授業開始時刻を定めます。
１．午前 6 時の時点で開通していたとき、通常通り授業を開始する。
２．午前 10 時の時点で開通していたとき、3 限より授業を開始する。
３．午前 10 時の時点で開通しなかったとき、当日は休校とする。

〔注〕
ア）緊急時には，緊急メール，学校のホームページで連絡・指示を行うことがあります。その場合，１～３の判断基準よりも緊急連絡の内容が優先されます。
イ）上記以外の他線が回復せずどうしても登校ができない場合，あるいは状況により通学が危ぶまれる場合は，無理して登校しないでください。後日、「登校ができない」と判断した具体的な状況、「通学が危ぶまれる」と判断した具体的な状況を記した届を書面で教務部に提出してください。提出された届の内容を元に学校として出欠の判断を行います。
ウ）大規模地震の警戒宣言が出た場合は，別にお知らせした「大規模地震予知情報『警戒宣言』が発令された場合の措置について」に従います。
エ）交通機関のストライキについては，別に指示します。

９．図書視聴覚室の利用について

図書室の利用

【開室時間】　月曜日～金曜日　10：00～17：15

【貸出手続】

生徒証と借りたい本をカウンターに持って来て下さい。データ処理し，貸出期限票に返却日が押されると，貸出完了です。（セルフ貸し出し機での貸し出しも可能です。）この手続きを怠ると，ＢＤＳが感知し，警告音がなりますので，注意して下さい。電子図書館では、自動で返却されます。

【貸出期間・冊数】

《図　書》

１週間以内です。

貸出冊数は５冊までです。

長期休暇は別に定めます。

《雑　誌》

１泊２日です。

貸出冊数は１冊です。（最新号は貸出しません）

◇希望図書がある場合は，リクエストフォームに入力して送信して下さい。

◇図書を紛失，または汚損した時は個人で購入し，現物で弁償することになります。絶版などの理由で入手できない場合は，その本の金額を現金で納めていただきます。

◇飲食は厳禁です。

◇コピーカードでコピー機が利用できます。

◇貸し出し中の本はカウンターで予約できます。本が返却された時に連絡します。

◇本を延長して借りたいときは、次に予約者がいない場合に限り、貸出期間を１週間延長できます。

◇身分証明書の貸し借りをしないでください。また、自分が借りた本を他人に貸さないでください。トラブルの原因になります。

１０．コンピューター教室・インターネットの利用について

コンピュータ教室利用案内

１　施設・機器・ソフト

＊ 生徒用コンピュータ（MacBook Air）

＊ プロジェクタ２台

＊ Apple TV　１台

＊ レーザープリンター（モノクロ）２台

２　利用時間（開室時間）

8:45～17:30（授業使用時は使用できません。PC 室の出入口に時間割を貼り出します。）

３　コンピュータ教室　利用上の注意

1. １年生が授業以外でコンピュータ教室を利用できるのは、所定の利用時間（昼休み・放課後）だけです。朝、始業前の時間帯には利用できません。ただし 2,3 年生では、空き時間が開室時間内であれば利用可能です。
2. 利用者が閉室時刻を守らないと、教室管理者の方が帰ることができません。かならず閉室時刻までには、コンピュータをシャットダウンし、退室し終わっているようにしてください。
3. 授業で教室を使用する場合は必ず指定された PC を使ってください。授業以外での利用は、その都度、教室管理者に申し出て指定の PC を借りるようにしてください。
4. ID とログインパスワードの管理を厳重にし、どんな事情があっても他人に使わせてはならないし、同じく他人の ID を使ってはなりません。各人の利用状況は自動的に記録されているので、それを見て違反が重なっている場合、使用禁止の措置を取ることがあります。
5. 機器・備品はデリケートなので大切に使用し、破損するような乱暴な扱いをしてはなりません。機器を保護するため、ほこりをたてる行為や消しゴムの使用を禁止します。同じ理由で、室内での飲食は厳禁、したがって飲食物の持ち込みも禁止します。なお、サーバや教員用機器は使用してはなりません。違反を確認した場合、使用禁止の措置を取ることがあります。
6. 機器・備品を、勝手に移動したり、持ち出したりしないでください。
7. 機器類の諸設定の変更やソフトを勝手にインストールするなどの行為をしてはなりません。
8. 教室管理者の指示にはどんなことがあっても従ってください。また、操作が不明な場合は、無理をせず、教室管理者に援助を依頼してください。
9. PC 室での印刷は、授業で必要になるもののみとし、大量に印刷しないでください。

インターネット利用案内

1. インターネット上には、公道上と同じく、善人もたくさん行き来するかわりに悪意の人も必ずいることを忘れず、法政大学国際高等学校生にふさわしい自覚ある利用をしてください。
2. 当校入学時に、全員に、コンピュータ教室のネットワークに入るためのユーザーＩＤとログインパスワード(これは各自が自分で決める)、それにインターネット上でメールの送受をするためのメールアドレスとメールパスワードを発給します。これらの ID, アドレス, パスワードは卒業時まで通して使います。その管理には細心の注意を払い、ことにパスワードはどんなことがあっても他人に知られないようにしてください。もちろん、ID やアドレスを他人に使用させることは、どんな事情があってもしてはなりません。
3. 万一、パスワードを忘れた場合、それまで登録されていたものを一旦取り消して再登録することになります。PC 事務員に必ず身分証明書を提示して、その手続きをお願いしてください。
4. 学校発給のアドレス（ドメイン名が「@hosei-gh.ed.jp」のもの）でのメールの送受は、通常のメーラ（メールソフト）でも、ブラウザ（WEB 閲覧ソフト）を使ってでも可能です。
5. 受信メールに添付ファイルがある場合、ウイルスの可能性もあるので、送信者が誰なのか、それは間違いなく本人なのか、ファイル添付の必然性があるのかなどを慎重に判断し、安全性を確かめてからでなければ開いてはなりません。安全性に確信が持てないときは PC 事務員に必ず相談してください。
6. いわゆる「チェーンメール」を受信した場合、どんな内容であってもその転送をしてはなりません。
7. スパムメール・不審なメール・チェーンメール・ウイルス添付メール等を受け取った場合は、速やかに PC 事務員に届け出てください。
8. ソフトの違法コピー（私物ソフトのインストール等)、インターネット上の著作物（文章・画像など）の複製利用など著作権法違反になる行為（法で許されている場合を除く）をしてはなりません。
9. 煩雑な精算手続きが発生するので、PC 教室から有料のデータベースを利用したりオンラインショッピングなどの売買契約をしたりすることを禁止します。同様の理由で、営利目的の利用も禁止します。
10. メール送信や SNS・BBS・ブログ等への書き込みをする場合、どんな理由があっても個人攻撃や誹謗中傷、人権侵害にあたる内容の情報発信をしてはなりません。
11. SNS・BBS・ブログなど不特定多数が閲覧できる場への情報発信にあたっては、個人を特定できるような情報（氏名・住所・電話番号・アドレス・顔写真・他）を露出してはなりません。また、資料請求などの各種登録用のフォームに個人情報を入力して良いかどうかも、極めて慎重に判断して下さい。判断に迷った場合は情報科教員に相談してください。
12. ネットワークを利用して自ら使用権のないコンピュータへの侵入等の不正行為を試みてはなりません。
13. 以上のガイドラインに照らして重大な違反があった場合、使用禁止等の措置を取ることがあります。

以上

１１．2024 年度 教科書・副教材一覧

○１年次生

グローバル探究コース

下記の販売金額には消費税10%相当額を含んでおります
教科書番号欄に番号が記入してある書籍は検定教科書です(非課税品です)

NO	科目	出版社	教科書番号	書名	販売金額
1	現代の国語	桐原書店	717	【高】◇探求 現代の国語	625
2		桐原書店		書いて覚えて実践する 高校生の語彙と漢字 ゴイカン	635
3	言語文化	筑摩書房	712	【高】◇言語文化	780
4		東京書籍		新総合 図説国語	915
5		桐原書店		基礎から学ぶ 解析古典文法 三訂版	605
6		桐原書店		基礎から学ぶ 解析古典文法 三訂版 演習ノート	390
7		文英堂		基本漢文マスター 四訂版	535
8		Z会		基礎が身につく古文レベル1	655
9		Z会		基礎が身につく漢文レベル1	655
10	歴史総合	第一学習社	710	【高】◇高等学校 歴史総合	768
11		帝国書院		明解 歴史総合図説 シンフォニア 初訂版	835
12	公共	教育図書	702	【高】◇公共	721
13	数学Ⅰ・数学A	東京書籍	701	【高】◇数学Ⅰ Advanced	824
14		東京書籍	701	【高】◇数学A Advanced	653
15		東京書籍		PRIME数学Ⅰ＋A(別冊解答付き)	950
16	物理基礎	東京書籍	702	【高】◇新編物理基礎	877
17		東京書籍		新課程 ニューサポート 新編 物理基礎	610
18	化学基礎	東京書籍	701	【高】◇化学基礎	880
19		啓林館		化学基礎の徹底演習ドリル	370
20	英語コミュニケーションⅠ	啓林館	712	【高】◇ELEMENT English Communication Ⅰ	711
21		数研出版		必携英単語 LEAP	1,025
22		数研出版		新訂版 チャート式シリーズ DUALSCOPE High School Englishデュアルスコープ総合英語	1,640
23		数研出版		新訂版 DUALSCOPE English Grammar in 27 Stages	625
24		数研出版		新訂版 Workbook for DUALSCOPE English Grammar in 27 Stages	540
25	論理表現Ⅰ	啓林館	708	【高】◇Vision Quest English Logic and Expression Ⅰ Advanced	656
26	保健体育	第一学習社	703	【高】◇高等学校 保健体育 Textbook	610
27		第一学習社	704	【高】◇高等学校 保健体育 Activity	126
28		大修館書店		ステップアップ高校スポーツ2023	1,010
29	情報Ⅰ	東京書籍	702	【高】◇情報Ⅰ Step Forward!	1,072
30		実教出版		パーフェクトガイド情報 Office2019対応	740
31		東京書籍		情報Ⅰ Step Forward! 学習ノート	560
	金額総合計				22,598

美術選択者のみ購入

美	美術Ⅰ	光村図書	701	【高】◇美術1	1,232
	美術選択者 金額総合計				23,830

音楽選択者のみ購入

音	音楽Ⅰ	音楽之友社	704	【高】◇ON! 1	507
音		教育芸術社		改訂 音楽通論	1,025
	音楽選択者 金額総合計				24,130

国際バカロレア(IB)コース

下記の販売金額には消費税10%相当額を含んでおります
教科書番号欄に番号が記入してある書籍は検定教科書です(非課税品です)

NO	科目	出版社	教科書番号	書名	販売金額
1	現代の国語	桐原書店	717	【高】◇探求 現代の国語	625
2		桐原書店		書いて覚えて実践する 高校生の語彙と漢字 ゴイカン	635
3	言語文化	筑摩書房	712	【高】◇言語文化	780
4		東京書籍		新総合 図説国語	915
5		桐原書店		基礎から学ぶ 解析古典文法 三訂版	605
6	歴史総合	帝国書院	706	【高】◇明解 歴史総合	853
7		とうほう		問いからはじまる歴史総合	936
8	地理総合	帝国書院	707	【高】◇高校生の地理総合	747
9		帝国書院	702	【高】◇新詳高等地図	1,561
10	公共	教育図書	702	【高】◇公共	721
11		浜島書店		ニュービジョン公共	906
12	数学Ⅰ・数学A	東京書籍	701	【高】◇数学Ⅰ Advanced	824
13		東京書籍	701	【高】◇数学A Advanced	653
14		東京書籍		PRIME数学Ⅰ＋A(別冊解答付き)	950
15	物理基礎	東京書籍	702	【高】◇新編物理基礎	877
16		東京書籍		新課程 ニューサポート 新編 物理基礎	610
17	化学基礎	東京書籍	701	【高】◇化学基礎	880
18		第一学習社		新課程版セミナー化学基礎＋化学	1,025
19	生物基礎	第一学習社	710	【高】◇高等学校 生物基礎	996
20	英語コミュニケーションⅠ	啓林館	712	【高】◇ELEMENT English Communication Ⅰ	711
21	論理表現Ⅰ	啓林館	708	【高】◇Vision Quest English Logic and Expression Ⅰ Advanced	656
22	保健体育	第一学習社	703	【高】◇高等学校 保健体育 Textbook	610
23		第一学習社	704	【高】◇高等学校 保健体育 Activity	126
24		大修館書店		ステップアップ高校スポーツ2023	1,010
25	情報Ⅰ	東京書籍	702	【高】◇情報Ⅰ Step Forward!	1,072
26		実教出版		パーフェクトガイド情報 Office2019対応	740
27		東京書籍		情報Ⅰ Step Forward! 学習ノート	560
28	家庭基礎	教育図書	704	【高】◇Survive!! 高等学校 家庭基礎	614
	金額総合計				22,198

美術選択者のみ購入

美	美術Ⅰ	光村図書	701	【高】◇美術1	1,232
	美術選択者 金額総合計				23,430

音楽選択者のみ購入

音	音楽Ⅰ	音楽之友社	704	【高】◇ON! 1	507
音		教育芸術社		改訂 音楽通論	1,025
	音楽選択者 金額総合計				23,730

○２・３年次生教科書・副教材

法政大学国際高等学校 2･3年生 G探コース 教科書･副教材販売票

注:教科書(教科書番号欄に番号あり)の販売金額は文部科学省が定めた定価金額です
注:副教材の販売金額は消費税10%相当額を含んだ内税金額です
注:異なる科目で同じ本を使用する場合があります(注1～8参照) 重複して購入しないように注意して下さい

科目	科目名	発行者	教科書番号	書名	販売金額	注(重複)	チェック○
101	論理国語	筑摩書房	710	【高】◇論理国語	930		
		筑摩書房		読解評論文キーワード 改訂版	1,010		
102	文学国語	筑摩書房	708	【高】◇文学国語	993		
		文英堂		これで完成 書いて覚える リテラ 大学入試漢字1500	540		
		筑摩書房		高校生のための現代思想エッセンス ちくま評論選 二訂版	540		
103	古典探究	文英堂	712	【高】◇古典探究	1,073		
		Z会		基礎が身につく古典レベル2	650	1	
		桐原書店		読んで見て覚える古文攻略マストアイテム76〈常識・文法・和歌〉改訂版	960	1	
104	総合国語	明治書院		文学のとびらを開く 近現代文学名作選	970		
105	古典総合	Z会		基礎が身につく古典レベル2	650	1	
		桐原書店		読んで見て覚える古文攻略マストアイテム76〈常識・文法・和歌〉改訂版	960	1	
106	古典講読			該当なし			
107	日本の古典芸能			該当なし			
201	地理総合	帝国書院	707	【高】◇高校生の地理総合	747		
		帝国書院	702	新詳高等地図	1,561		
202	世界史探究	山川出版	704	【高】◇詳説世界史	886		
		帝国書院		最新世界史図説タペストリー二十二訂版	970		
203	日本史探究	山川出版	705	【高】◇詳説日本史	891		
		浜島書店		新詳日本史	970		
204	世界史総合			該当なし			
205	日本史総合			該当なし			
206	倫理	実教出版	702	【高】◇詳述倫理	528		
207	政治・経済	清水書院	704	【高】◇高等学校 政治・経済	527		
		とうほう		政治・経済資料2024	1,000	2	
208	国際社会	とうほう		政治・経済資料2024	1,000	2	
301	数学Ⅱ(基礎)	東京書籍	701	【高】◇数学Ⅱ Advanced	867		
		東京書籍		PRIME数学Ⅱ＋B(+解答)	1,190	3	
302	数学Ⅱ(発展)	東京書籍	701	【高】◇数学Ⅱ Advanced	867		
		東京書籍		PRIME数学Ⅱ＋B(+解答)	1,190	3	
303	数学Ⅲ	東京書籍	701	【高】◇数学Ⅲ Advanced	867		
		東京書籍		PRIME数学Ⅲ(+解答)	980		
304	数学B	東京書籍	701	【高】◇数学B Advanced	759		
		東京書籍		PRIME数学Ⅱ＋B(+解答)	1,190	3	
305	数学C	東京書籍	701	【高】◇数学C Advanced	714		
		東京書籍		PRIME数学C(+解答)	830		
306	数学研究Ⅰ			該当なし			
307	数学研究Ⅱ			該当なし			
308	調査研究の為の数学			該当なし			

401	生物基礎	東京書籍	701	【高】◇生物基礎	996		
402	物理への橋渡し	東京書籍	701	【高】◇物理	1,241		
		東京書籍		NEW GLOBAL 物理基礎＋物理	1,230	4	
403	化学への橋渡し	東京書籍	701	【高】◇化学 Vol.1 理論編	506		
		東京書籍	702	【高】◇化学 Vol.2 物質編	718		
		第一学習社		新課程版 セミナー化学基礎＋化学	1,030	5	
404	生物への橋渡し	東京書籍	701	【高】◇生物	1,318	6	
		第一学習社		新課程版セミナー生物基礎＋生物	1,060		
405	物理	東京書籍	701	【高】◇物理	1,241		
		東京書籍		NEW GLOBAL 物理基礎＋物理	1,230	4	
406	化学	東京書籍	701	【高】◇化学 Vol.1 理論編	506		
		東京書籍	702	【高】◇化学 Vol.2 物質編	718		
		第一学習社		新課程版 セミナー化学基礎＋化学	1,030	5	
		浜島書店		ニューステージ 化学図表	900		
407	生物	東京書籍	701	【高】◇生物	1,318	6	
501	体育(2年次･基礎) 体育(2年次･発展)			該当なし			
503	保健(2年次)			該当なし			
504	体育(3年次･基礎) 体育(3年次･発展)			該当なし			
601	音楽Ⅱ	教育芸術社	702	【高】◇高校生の音楽2	345		
602	音楽Ⅲ	音楽之友社	702	【高】◇ON! 3	355		
603	美術Ⅱ	日本文教出版	702	【高】◇高校生の美術2	969		
604	美術Ⅲ	日本文教出版	702	【高】◇高校生の美術3	672		
701	英語コミュニケーションⅡ	三省堂	707	【高】◇CROWN English Communication Ⅱ	729	7	
702	英語コミュニケーションⅡAdvanced	三省堂	707	【高】◇CROWN English Communication Ⅱ	729	7	
703	英語コミュニケーションⅢ	増進堂	717	【高】◇FLEX ENGLISH COMMUNICATION Ⅲ	706	8	
704	英語コミュニケーションⅢAdvanced	増進堂	717	【高】◇FLEX ENGLISH COMMUNICATION Ⅲ	706	8	
705	論理･表現Ⅱ	啓林館	708	【高】◇Vision Quest English Logic and Expression Ⅱ Ace	642		
706	論理･表現Ⅲ	啓林館	706	【高】◇Vision Quest English Logic and Expression Ⅲ	542		
707	ライティングⅠ	南雲堂		Skills for Better Writing ＜Basic＞	2,160		
708	ライティングⅡ	National Geographic Learning		Great Writing 3 (5th Edition) Student Book with Online Workbook Access Code	4,300		
709	いろいろな英文を読む	いいずな書店		総合問題集Wonderland 3rd Edition ⑤	840		
		朝日出版社		CNN Comprehensive Trainer 2024	1,210		
710	英語で学ぶ日本の文化	南雲堂		Enjoying Different Cultures	2,160		
711	英語圏の言語と文化			該当なし			
712	ドイツ語圏の言語と文化	同学社		ドイツ語の広場 Lernplatz Deutsch	2,590		
713	フランス語圏の言語と文化	駿河台出版社		改訂版 フランス語の方法(CD付) コミュニケーションと文法の基礎	2,800		
714	中国語圏の言語と文化	朝日出版社		初級テキスト 4つの場面から学ぶ ミニマル中国語	2,480		
715	韓国･朝鮮の言語と文化	駿河台出版社		おっハングル 韓国語入門テキスト	2,160		
716	スペイン語圏の言語と文化	朝日出版社		いいね！スペイン語 (コンパクト版)	2,590		
717	イタリア語圏の言語と文化	朝日出版社		OPERA PRIMA 1	2,590		
718	ランゲージB HL Ⅰ･ランゲージB HLⅡ･ランゲージB SLⅠ･ランゲージB SLⅡ 該当なし						
801	家庭基礎	教育図書	704	【高】◇Survive!! 高等学校 家庭基礎	614		
802	情報Ⅱ	実教出版	702	【高】◇情報Ⅱ	1,180		
		実教出版		情報Ⅱ 学習ノート	650		
法政大学国際高等学校 教科書販売店 ㈱オフィスポート TEL045-473-1237 MAIL kitamura@officeport.jp					合計		

法政大学国際高等学校 2年生 IBコース 教科書･副教材販売票

注：教科書(教科書番号欄に番号あり)の販売金額は文部科学省が定めた定価金額です
注：副教材の販売金額は消費税10%相当額を含んだ内税金額です

科目	発行者	教科書番号	書名	販売金額	チェック○
生物(SL･HL)	オーム社		ワークブックで学ぶ生物学の基礎　第3版	3,450	
	オーム社		ワークブックで学ぶ生物学実験の基礎	2,480	
IB　化学 化学(SL)	東京書籍	701	化学　Vol.1　理論編	506	
	東京書籍	702	化学　Vol.2　物質編	718	
	浜島書店		ニューステージ　化学図表	900	
	化学同人		大学への橋渡し　一般化学	2,370	
	化学同人		大学への橋渡し　有機化学	2,590	
IB　歴史	実教出版	702	世界史探究	886	
法政大学国際高等学校 教科書販売店 ㈱オフィスポート TEL045-473-1237　MAIL　kitamura@officeport.jp				合計	